



第 703 号
発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人
編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
(9月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,325人
女 3,363人
総人口 6,688人
世帯数 2,154戸

新たに発見 蝶の魅力

令和元年度資料館特別展「日本の蝶コレクション展」が、八月十日から十八日まで「ゆめあるて」オープンスペースで開かれた。出展したのは、村内の阿部繁さん、仲平淳司さん、箕輪町の城田一司さんら、この道五十年の蝶愛好家三人。展示内容は、日本に生息する蝶二百四十種をはじめ、蝶の生態写真、蝶の生態動画、生きている蝶の幼虫の展示も行われた。

また、十二日には記念イベントとして「蝶の観察会と標本づくり」が行われた。期間中約三百五十人の参加者が訪れた。

令和元年度資料館特別展「日本の蝶コレクション展」が、八月十日から十八日まで「ゆめあるて」オープンスペースで開かれた。出展したのは、村内の阿部繁さん、仲平淳司さん、箕輪町の城田一司さんら、この道五十年の蝶愛好家三人。展示内容は、日本に生息する蝶二百四十種をはじめ、蝶の生態写真、蝶の生態動画、生きている蝶の幼虫の展示も行われた。

また、十二日には記念イベントとして「蝶の観察会と標本づくり」が行われた。期間中約三百五十人の参加者が訪れた。

令和元年度資料館特別展「日本の蝶コレクション展」が、八月十日から十八日まで「ゆめあるて」オープンスペースで開かれた。出展したのは、村内の阿部繁さん、仲平淳司さん、箕輪町の城田一司さんら、この道五十年の蝶愛好家三人。展示内容は、日本に生息する蝶二百四十種をはじめ、蝶の生態写真、蝶の生態動画、生きている蝶の幼虫の展示も行われた。

また、十二日には記念イベントとして「蝶の観察会と標本づくり」が行われた。期間中約三百五十人の参加者が訪れた。

令和元年度資料館特別展「日本の蝶コレクション展」が、八月十日から十八日まで「ゆめあるて」オープンスペースで開かれた。出展したのは、村内の阿部繁さん、仲平淳司さん、箕輪町の城田一司さんら、この道五十年の蝶愛好家三人。展示内容は、日本に生息する蝶二百四十種をはじめ、蝶の生態写真、蝶の生態動画、生きている蝶の幼虫の展示も行われた。

また、十二日には記念イベントとして「蝶の観察会と標本づくり」が行われた。期間中約三百五十人の参加者が訪れた。

新教育長 壬生 英文
私こと、去る八月九日、議会臨時会においてご同意をいただき、九月一日付で教育長に就任いたしました。豊丘村として日本の将来を担う子どもたちを育てることの使命の重さに身のすくむ思いですが、歴代の諸先輩が尽力され築いてきて

新教育長御挨拶
子どもが学び、切り拓き、生き抜いていけるように
くだった村の教育行政を一層充実・発展させるために、もとより微力ではありますが、誠心誠意、全力で取り組んでいく所存であります。

新教育長御挨拶
子どもが学び、切り拓き、生き抜いていけるように
くだった村の教育行政を一層充実・発展させるために、もとより微力ではありますが、誠心誠意、全力で取り組んでいく所存であります。

新教育長御挨拶
子どもが学び、切り拓き、生き抜いていけるように
くだった村の教育行政を一層充実・発展させるために、もとより微力ではありますが、誠心誠意、全力で取り組んでいく所存であります。

新教育長御挨拶
子どもが学び、切り拓き、生き抜いていけるように
くだった村の教育行政を一層充実・発展させるために、もとより微力ではありますが、誠心誠意、全力で取り組んでいく所存であります。

新教育長御挨拶
子どもが学び、切り拓き、生き抜いていけるように
くだった村の教育行政を一層充実・発展させるために、もとより微力ではありますが、誠心誠意、全力で取り組んでいく所存であります。

(松尾 一孝)

村議会の改革はなるか

区役員と自治会長にアンケートを実施

公民館長 原 国人

この四月に行われた村議会議員選挙は無投票で十四の議席が確定しましたが、その後、五月に招集された臨時議会において村長から、「議員定数を削減しなかった議会の方針は間違っていた」と多くの村民は思っている。このことはマスコミでも報じられ、六月の定例村議会的一般質問でも取り上げられました。

また、公民館報の六月号と七月号でも、議員定数について多様な意見が寄せられています。

この問題は村民の関心事であると捉え、日頃から村政に関わりの深い区の役員と自治会長、合計百九十五人の皆さんを対象に七月に議員定数等に関するアンケート調査を行いました。その概要を報告します。

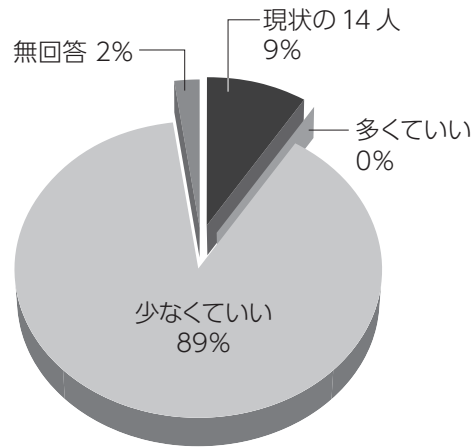
■回答者数は百二十三人で、回収率は六十三%でした。なお、「政治的な問題に公民館は関わるべきでない」とする意見もいた、だいていますが、法に照らして問題はないと考えています。

■議員定数について尋ねたところ、八十九%の人が現在の十四人より「少なくともいい」と答え、更に具体的な議員定数として三十五人の人が「十人」、六十四人の人が「十二人」が適当と記しています。

その理由を記述してもらったところ、他町村との比較（三十人）、人口規模（十四人）、少数精鋭（十人）、選挙をすべき（十人）、議員活動がされていない（十人）という意見が目立っています。

一方で、現状の十四人が望ましいとする意見としては、「村民の声を拾い、村の課題と展望を議論してほしい」、「定数の問題というより村民の声を届ける役割を果たしているかどうかだ」、「できるだけ多くの地区から出られるように」等の意見が寄せられています。

議員定数の考え



館長名で行ったアンケートについて 公民館報編集委員会より

7月上旬、各区の役員と自治会長に「豊丘村議会議員の定数等に関するアンケートへのご協力をお願い」という依頼文（公文書）が、原国人公民館長名で配られた。

要旨は「5月の臨時議会で村長が『議会の方針はまちがっている』と発言した。村民の関心も高まっている」というものだった。

依頼文と一緒に、次のように印刷された回答ハガキが配られた。

- ①村議会議員の定数について、A B Cの1つに○印と、その理由を下段にお書きください。
- また、BとCに○印をつけた方で、具体的な人数のお考えがあったら（ ）内にお書きください。
- A、現状の14人がいい
B、現状より多くていい（ ）人
C、少なくていい（ ）人
- 上記を選んだ理由をお書きください。
- ②村長と議会、村民と議会、村民と村長との関係などについてお考えがあったら自由にお書きください。
- ③貴殿の年齢をお書きください。

ハガキは7月30日までに投函するよう求めている。

※公民館報編集委員会は館長名によるアンケートには関与しておらず、今回の記事は館長の依頼によって掲載していることを付言します。

公民館長のアンケートには問題がある

投稿 吉畑 原 章

五月議会で村長と議会が激しく対立をした後、七月はじめに公民館長から、区長や自治会長宛に「豊丘村議会議員の定数等に関するアンケートへお願い」の通知が配布された。

その通知文の中に「村民の関心が高まっている時期に」とあった。雰囲気に乗って行ったともとれるが、簡単なアンケートでは、表面的な結果しか得られず、扱いによれば村民の騒ぎを大きくする。尊い公民館費を使っている事かと思う。このアンケートを見て、そんな事以上に問題を感じたところは、まず、項目に議員数を取り上げているが、

二年代表制など村長発言に關するものは無い。片手落ちと思う。

二つ目として、このアンケートの対象者抽出では、区長、自治会長という村の現状や運営に関わる人たちに絞られ、女性や若い人は含まれない。含まれていても少数だろう。

こういう内容や方法では、おそらく村長サイドに有利なアンケート結果が予想され、議会には批判的になる。公民館報という情報媒体を使い、公民館長が村長側だけに有利なようにしたりするのは、村民の正しい認識を間違えた方向に導く可能性が大きい。

議員定数については、「選挙にならなかった」などと批判されているが、議会は、昨年全村民にも参加を呼びかけ、手順を踏み審議をして十四名に決めている。考えようによっては、公民館長という立場を利用した議

会活動の軽視、越権・介入行為にもなるのではないかと。豊丘村の公民館には「条例（規則）のきまりがある。その中の公民館の目標や事業項目などには、こういったアンケートを行うことについて直接的は言及は無い。

今回のアンケートは、本来の公民館活動をかなり逸脱したものとも言える。深い考えや高い見地に立つて中立的な立場で情報収集や情報提供を行う公民館。一村民として、そんな姿を求めたい。

シリーズ「元氣な高齢者」⑤9 孫、曾孫の成長を見つめ平和な世界を願う

原 一さん 九十歳 下市場在住



激しい空襲を連日受けた。宮崎、諫早、佐世保などを転々とし、まさに死線をさまよっていたが、八月十五日に終戦を迎えた。

汽車を乗り継ぎ広島の悲惨な状況を目にしたが、二十三日に自宅へ戻った。これらの話は余りに辛い内容のため、口に出すのも憚られ二年前の米寿の時に初めて公言したものであった。

組合の支部長、県理事を歴任し、六十二歳で退社した。二十九歳の時、喬木出身で七歳下の八代子さんと結婚した。八代子さんは一さんの陰になり懸命に支えたが、十二年前に亡くなった。退職後に夫婦でカナダ、ハワイ、欧州、中国等を旅行できたことがせめてもの慰めであるが、今でも無念に思う。

会社を辞めるのを待っていたかのように公務を仰せつかった。いきなり区の会計から始めて、副区長、区長まで勤め上げた。それまで地元のことに縁が無かったのが始めは戸惑ったが、持ち前の押しの強さ、前向きな姿勢で乗り切り地域の人の信頼を得た。その後、村の第四次振興計画に参画し更に行政評価委員、行政改革委員、また高齢者クラブ連合会会長を勤め村の振興・発展に大きく貢献した。

喬木の竜東農学校へ進み勉学に励んでいたが、当時は戦時色が強く気持ちは大きく戦争に傾き、家族の強い反対を押し切って十九年に予科練に志願した。熊本県人吉の訓練場で、座学、飛行機の構造、航空法等を徹底的に叩き込まれた。覚悟はしていたが実態は想像以上に厳しかった。練習機は底をついており、訓練もそこそこに練習生から実戦部隊の宮崎特攻基地に三月に配属されたが、特に宮崎は特攻隊の出撃基地のため、

九十年の現在では聴力にやや難があるものの、視力、知力は問題ない。新聞は毎日隔々まで目を通し、今でも飯田程度まではときどき運転している。趣味は仕事

ゴルフをしたが、現在は専らゲートボールに力を注いでおり、ほぼ一日おきに興じている。特筆すべきは、定年後に始めた水墨画で、最初に老人大学で二年間基礎を学び、その後文部大臣賞を受賞したこともある先生の教えを得たのが実を結び、東京都美術館、また国立美術館での全国水墨画協会展に出席し何回か入選したこともあるほどの腕前である。更に慈恵院へは住職の要望もあり、山門を描いた一品を寄贈した。現在はその仕事場が曾孫の遊び場となっており休止状態である。卒寿祝いには子供、孫、曾孫など十七名が集まってくれ、盛大に開催できた。今でも毎日1kmほどを歩き、野菜作りにも余念が無い。また庭木の手入れも高所以外は自ら行っている。野菜作りでは、季節毎、少量多品種を栽培し毎年作柄を記録して改善している。

少年時代の戦争体験と後年の旅行で、広島平和記念資料館を見学した時の印象が強く残っている。平和への憧れ、希望に思いをはせ、孫、曾孫の成長を願う一方で、最近の世相には憂うことが多く心配事が尽きない。強い好奇心を保ち、細い目の中に人の心情を見抜く鋭い眼力で、地域の更なる興隆への思いは、今なお強い。

現在、長男夫婦との三人暮らし。養命酒、ヤクルト、牛乳を毎日欠かさず、規則正しい生活で健康に配慮し、更に多くの物事への探究心と好奇心が長寿の秘訣と心得ている。

中・小・低読書会
言葉に宿る目に見えない世界の発見



中 芝
市瀬弘子

私の住む自治会には三十
七名の小学生がいます。朝
夕挨拶してくれる大切な子
どもたちです。この子ども
たちを対象に夏休み子ども
読書会を三回開きました。

育成会で「ラジオ体操後
の二十分間良書に親しんで、
本好きになってもらいたい」
と説明したところ、積極的
に協力して下さり、多くの
子どもさんの参加がありま
した。

一回目は五味太郎作『さ
る・るるる』二回目は工藤
直子作『のはらうた』三回目
は低学年が五味太郎作『いっ
ぱんぱしわたる』高学年が
宮澤賢治作『雨ニモマケズ』
を声を合わせて読んでもら
い、作品の素晴らしさを味
わいました。

大人が子どもに伝えたい
ことは沢山ありますが、な
かでも読書の楽しさを伝え
ることはとても大切と思い

ます。国語力がつくだけ
なく創造力、共感性が育つ
といわれています。

ネットですら早く簡単に目
に入ってくるものしか見聞き
しないでいたら、考える能
力、書き記された言葉に宿
る目に見えない世界の発見
はできなくなるのではない
でしょうか。

今回、五名の方々が意欲
的に協力して下さいました。
地域の大人たちが助け合
いながら進めて、未来ある
子どもたちに本好きになり
読書するといったことがある
と思ってもらいたい。

今後も継続して、子ども
に読書習慣が身についてい
けばいいと思います。

社会を
明るくする運動

社会を明るくする運動
について思うこと

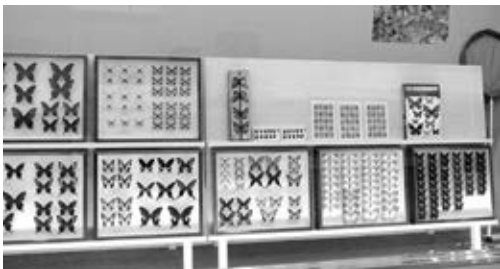
南小五年 市瀬鷹王

僕は社会を明るくする運
動と聞いても、あまりよく
分かりませんでした。僕の
周りには犯罪や非行をする
人はいなかったし、テレビ
でニュースを見ることや、
新聞を読んでも知ることし
かなかったです。しかし、チ
ェンジングハートという番
組を見て犯罪や非行のイメ
ージが変わり、社会全体で犯
罪をおかした人たちを支え
ることの必要性を感じまし
た。特に、僕は番組の中で着
目したことが二つあります。

一つ目は、地いきの理解・
協力についてです。例えば、
が徐々に破壊されつつある
現状や自然と接する機会が
めっきり減ってしまった子
供たち等、様々な問題を考
えさせられました。

最後に、今回全面的にご
協力くださった三名のコレ
クターの皆様には、収集家
としての人生そのものとも
いえる貴重な標本をご提供
いただきました。衷心より
感謝申し上げます。

資料館主任 唐澤武彦



どこかで犯罪者が通った時
に、地いきの人が冷たい目
で見ると、地いきの人が
温かく見るのでは大きく異
なってきます。犯罪者が更
生して頑張ろうとする姿を
認めることは簡単ではない
けれど、おたがいに歩み寄
ろうとする努力は必要だと
思います。犯罪者が社会復
帰しやすい環境を整え、ボ
ランティア活動や老人施設、
障がい者施設での交流、地
いき行事への参加などを通
して、打ち解けていけたら
いいなとも思います。地い
きの人が思いやりの心で温
かく見ると、犯罪者も心が
温かくなり、社会でおたが
いにすごしやすくなるので
はないでしょうか。

二つ目は、犯罪者自身が
じっくりと自分に向き合い、
見つめ直し、そして心を打ち
明けることについてです。い
くら社会が受け入れても、犯
罪者自身が自分を見つめ直
し向き合わない、立ち直る
ことができません。なので、
地いきと犯罪者がおたがい
に歩み寄ることが大切です。
犯罪者だけでなく、誰もが
自分と向き合い、見つめ
直すことは簡単ではありません。

せん。社会にはさまざまな
相談にのってくれる人、機関
があります。やんだ時には、
それらも上手に利用しなが
ら、周りの人たちの手助けを
受け、自分なりの答えをみつ
けられるようにしたいとい
と思います。ふだんから声
をかけ合って話がしやすい
環境をつくることを心がけ
ていく必要があります。

そこで、今の僕には何がで
きるのかを考えてみました。
家の近くで遊ぶ時や学校へ
の登下校など、ふだんから地
いきの人たちに大きな声で
はつきりと気持ちの良いあい
さつをするということです。あ
いさつをするによって、相
手に人が明るくうれしい気
持ちをもつてくれると、僕も
うれしいです。そうすると、僕
の顔を覚えてくれて、困っ
た時に声をかけてくれたり、
助けてくれたりすることに
もつながると思います。

また、自分自身が犯罪や
非行にそまらなない強い心
をもつことも大切です。例えば、
これから先、友達や知り合い
に犯罪や非行へさそわれた
としても、ダメときっぱり
と断るようにしたいです。
僕ができることは社会全
体からしてみればとても小
さな事かもしれませんが、け
れど何もしないでいるより
は、社会が明るくなるために、
出来ることから少しずつは
じめていきたいと思ひます。

おじいさんの
ボランティア

南小五年 松尾遼真

ぼくが思っている社会を
明るくする運動は、人のた
めに自ら努力することだと
思っています。そこで、ぼ

くの飯田のおじいさんのや
っていることをしようかい
します。

おじいさんは、いつも家
のとなりの公園や飯田駅に
行く地下道など、いろんな
場所で草むしりやごみ拾い、
時には木のせんていなどを
しています。おじいさんに
どうしてそんなことをして
いるのか聞きました。そう
したら、「散歩をしている時、
大きな草がいつぱい生
えていて、町の中が汚くて気
持が悪かった」と言ってい
ました。仕事を退職して時間
ができたので、草むしりを始
めたそうです。ぼくは、「その
活動をしてよかったと思ひ
ますか」と聞くと、おじいさ
んは、「一時的にはよかった
けど、草はのびるし、ごみを
捨てる人がいるから、きりが
ない。日々戦いである」と言
っていました。おじいさんが
草むしりをしていると、無視
して行く人もいますが、時に
は、飲み物を差し入れて、「あ
りがとう」と言ってくれる人
もいます。毎日、公園を掃除
していたら、どんどん公園が
きれいになり、毎日しなくて
もよくなってきました。それ
で、他の場所へもどんどん行
くようになりました。

タバコのすいがらや飲み
物のカン、ペットボトルやビ
ニール袋などがいつぱい落
ちています。それも拾って片
付けるようになりました。そ
れから、中央通りや駅の近く
の駐車場、ロータリー、りん
ご並木の草取りをしに、順番
に行くようになりました。

今では、おじいさんの生
きがいにもなっています。で
も、暑い日が多くなったた
で、おばあさんはいつも、

「熱中しようにならないでね」
と心配しています。おじい
さんは日かげを選んで注意
して作業をしています。

ぼくはその話を聞いて、
おじいさんはすごいと思っ
ています。なぜかというと、
お金をもらっているわけ
でもないのに、自分からごみ
拾っていたり、草をむしった
りしているからです。ぼくは、
平気でごみを捨てる人が信
じられないと思っています。

社会を明るくするために、
ぼくができることをしたい
です。自分の家の周りの草



『豊丘村民話集』より

小豆よろいの話

原 花子

小さいころ、お化けの話
や恐ろしい、怖い話を聞く
ことが大好きで、おじいさ
んやおばあさんに話しても
らいました。

そのひとつ、小豆よろい
の話を思い出し、なつかし
く書いてみます。

私の祖父が阿島様へ勤め
ておりました。ある日、帰り
が夜になってしまい、河野の
南ちゃんの坂を上っていると
竹やぶの中で、いつも小豆を
よる（注・転がして選別
すること）ような音が聞こえ
てきたというのでした。

ある晩のこと、何者かが
おぶつてくれというので、
祖父はよし、おぶつてやる
から早く出てこいと言いま
すと本当に背負われたそう
です。祖父は「よしよし、しっ

をむしたり、ごみはきち
んと持ち帰ったり、学校の
帰りに近所の人が「おかえ
り」といってくれたら、大き
な声で「ただいま」と言っ
たりするような、いろんなこ
とがぼくにはできます。

ぼくは、平気でごみを捨
てる大人がいなくなつてほ
しいと思っています。おじ
いさんのごみ拾いの量がす
くなくなつてほしいです。
たまにはぼくも手伝いま
すので、体につけてが
んばってください。

文責 壬生雅穂

～シリーズ～ 豊丘の自然
No.189
マルタンヤンマ
(ヤンマ科)



マルタンヤンマは今から六十三年前の昭和三十一年（一九五六）年八月六日、竜江小の児童によって、長野県で初めて発見された。伊藤先生は「暖地系南方種の侵入」と紹介している。

そんなマルタンヤンマを八月二十三日、小池陽仁君（高森南小）が高森町で初めて発見した（実は、小池君は昨

年、すでに発見していた。私も飯田と川路で確認しているの、飯田・下伊那では三例目となり、現在は侵入ではなく、定着したと考えられる。

それにしても、偶然とはいえ、どちらも発見者は小学生。前号で紹介した植松君（高校生同様、若者の活躍がうれしい。トンボ、セミ…を通して、自然のすばらしさを感じてほしい。



川柳

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「達」 福沢勝美 選

達者でと首長挨拶リニア迄 山本 義彦

達者かな手を耳にやり首を振る 市沢 照子

成るように成る世の中と達観す 桃沢 健介

軸吟…何無くも夫婦達者が宝もの

▼課題「小」 互 選

不漁らし小さい秋刀魚ガマンする 林 もも子

朝一番小鳥にもらう応援歌 西元 峯子

小力士が横綱投げて舞う布団 福沢 勝美

小走りが出る間はまだ若い 久保ひろし

▼自由吟 久保ひろし 選

今朝の空不機嫌だなど傘を持つ 安田 喜子

戦争の事実知る程胸痛む 原 美風

軸吟…昭和には働くことを教えられ

八月十一日（日）、夏休みの吉例行事、豊丘の人形劇公演が行われました。

今年は、名古屋の人形劇団「むすび座」さんによる『かくれ山の大冒険くぼくにはできないありえないく』

私は、昨年度からこの人形劇実行委員会に関わらせていただくという貴重な機会を得まして、一層楽しく参加させていただきました。

私は、昨年度からこの人形劇実行委員会に関わらせていただくという貴重な機会を得まして、一層楽しく参加させていただきました。

私は、昨年度からこの人形劇実行委員会に関わらせていただくという貴重な機会を得まして、一層楽しく参加させていただきました。

私は、昨年度からこの人形劇実行委員会に関わらせていただくという貴重な機会を得まして、一層楽しく参加させていただきました。

私は、昨年度からこの人形劇実行委員会に関わらせていただくという貴重な機会を得まして、一層楽しく参加させていただきました。

私は、昨年度からこの人形劇実行委員会に関わらせていただくという貴重な機会を得まして、一層楽しく参加させていただきました。

私は、昨年度からこの人形劇実行委員会に関わらせていただくという貴重な機会を得まして、一層楽しく参加させていただきました。

豊丘の風物詩『人形劇公演』

北市場二 木下浩一

令和元年初の二十四時間ソフトボール大会が八月二十四日から二十五日に行われまして。今年で三十一回を迎え大変盛り上がり

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

第31回
24時間ソフトボール大会
行われる

数は招待チームを含め四十四チームでした。一試合平均五十五分で途中グラウンド整備時間を含め総試合数十二試合を行いました。恒例により「こぶしチーム」と「あかまつチーム」に別れて試合を行いました。今年

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム

今年で三十一回を迎え大変盛り上がりまして。今年の参加チーム



老若男女、笑顔で幸せなひとときを過ごせる、夏の服の清涼剤。私は、この貴重なひとときに関わることができて、本当にうれしかったです。

老若男女、笑顔で幸せなひとときを過ごせる、夏の服の清涼剤。私は、この貴重なひとときに関わることができて、本当にうれしかったです。

老若男女、笑顔で幸せなひとときを過ごせる、夏の服の清涼剤。私は、この貴重なひとときに関わることができて、本当にうれしかったです。

老若男女、笑顔で幸せなひとときを過ごせる、夏の服の清涼剤。私は、この貴重なひとときに関わることができて、本当にうれしかったです。

俳句 短歌

（とよおか短歌会）
暑き夏今年も出番のアイスノン今宵も離せず習慣となる
青春が逝るがにアスリートの汗に日本の未来を託す
冬なればもつたいたいと食べる胡瓜毎日獲れば持て余す夏
まるまるのわが家で穫れし葫を切ればつつん香り放つ
ひと粒の種にも命のあることを孫に伝えて向日葵咲かず
散髪は床屋と決めてたわが子たち今は男の子が美容院へ行く
腹筋運動を毎朝欠かさず二千回洗顔と同じと高橋尚子
真夜中にざわっと薔薇の葉かけ抜ける清しい風はわれを起せり
新刊の『豊丘風土記』届きて特集の毛涯章平先生身近に感ず
何事に抗いたるや今朝の愛猫マッポ外して用を足すなり
福澤 亀人